

# 中田かわら版 12月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

## ■この人に会いたい<39>

### 防火・防災のプロ

てっお

## 中尾 鐵雄さん 79歳（富士見丘）



軽快なスピーチ、中尾さん

平成29年10月3日ご自宅にお伺いして奥さまとご一緒に取材させていただきました。79歳になったとお聞きしましたが、快活な張りある笑い声、風貌から、とてもお若く感じました。

ご出身地を伺いますと鹿児島とのこと。南国九州特有のあの明るい快活さに納得できました。

防火・防災のプロと紹介しましたが、本当はプロ中のプロと紹介すべきお仕事をされておりました。

昭和34年に川崎消防署に勤務されて平成8年4月には組織のトップである川崎市消防局長まで上り詰めた努力の人です。平成20年11月文化の日に栄えある瑞宝小綬章を天皇陛下より賜っております。

現役のころ、川崎と千葉木更津を結ぶアクアラインの建設が進み、開通後の管理と管轄は両市とも消防本部であり、通常では県境、または市境が管理区域としては普通の決め方でしたが、アクアラインに関しては上下線での管理・管轄という特異な取り決めになったと伺い驚きました。

つまり、上り線は千葉県木更津市消防本部で、下り線は神奈川県川崎市消防本部で管理・管轄とのこと。普段何の疑問も抱かずに便利に利用している道路もこんな裏話しがあったようです。消防という特殊な任務に長年携わり、われわれ一般庶民が体験できない数々の経験と鹿児島という風土と合わさって、今ある中尾さんの豪快で温かいお人柄が出来上がったのではと納得致しました。

退職後は、富士見丘自治会の会長を平成19年から2年間自治会のリーダーとして活躍されました。平成22年から4年間、中田連合自治会副会長、引き続き会計監査を2年間、現在は相談役として、今もって役員で持ち前のパワフルと経験が大いに発揮され、中田地域の安全で安心なまちづくりに力を注ぐとともに、目を光らせていただいております。

健康法は、毎日奥さまの健康を思い一緒に5,000歩以上を目標に散歩をしているとのこと。毎日続ける意思の強さと深い奥さまへの思いやりが長時間の取材を通して感じました。散歩途中の中尾さんご夫婦を見かけたら気軽にお声をかけてください。気さくな方ですので、すぐに元気な声で応えてくれます。

現在は、ご夫婦二人での生活で、お子さま三人は各々家庭を持たれ独立して市内に住んでおられるとのこと。「金婚式にはお子さんとお孫さんに囲まれ盛大にお祝いされた」と嬉しそうに語ってくれた奥さまの様子が印象的で、取材しているこちらまで温かい雰囲気になってしまいました。

安心安全なまちづくりを中尾さんのようなプロに見守っていただいている中田地域がいかに安心して暮らせる町であるかが多くの中田住民の方々に知っていただけたと思い、取材した意義があったと思っております。

（編集委員 佐々木弘美）

～一人ひとりがCO<sub>2</sub>を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

# 1月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

## 第41回 中田新春健康マラソン大会 募集要項



日時：平成30年1月14日（日）雨天中止

開会式 9:30 スタート 2.5 km 10:00 5 km 10:20

場所：中田小学校校庭（スタート及びゴール）

申し込み方法：往復はがき（本人負担）による事前申込制（当日の申し込み不可）※12月20日必着

表彰：種目ごとに表彰します。また参加者全員に参加賞、その他特別賞など多数有ります。

参加費：中田連合地区在住者以外は1,000円（但し中学生以下は無料）

お問い合わせは、各自治会・町内会の体育部長まで。

申し込み方法及びコース図等「中田新春健康マラソン大会 開催要項と申込方法」については、立場地区センター、中田コミュニティハウス、葛野コミュニティハウスに12月1日から置いてあります。

### 投稿

中田・しらゆり世話人懇談会（仮称）を

山田 泰吉（中田西）



しらゆり公園、丸の内公園、中田第四、第五公園、

ごく最近では高砂自治会が通信隊の元基地跡を利用してやっていると聞いています。

一番古くからやっているのは「しらゆり」で24年間続けています。第五公園では2000年4月から始めており、一年を通じて雨、雪の日以外は元旦でも実施しています。

「丸の内公園」の場合は体操のあと、「浜ちゃん体操」を使って脳トレもやっているとのこと、「中田かわら版」9月号の記事に載っていました。8時過ぎの体操をやっているところもあるようです。早朝ラジオ体操は、とても健康に良いことは知られていますが、参加者が少ないとも聞いています。どうしたら集まるのか、いろいろ工夫されていることと思います。とりあえずは代表あるいは各世話人の方々が集まり体験・経験談などを話し合う場を作ってみてはどうでしょうか。半年に1回くらい懇談したら楽しいラジオ体操にできるかなと思います。

（連絡先 803-3497）

## 「中田かわら版」10周年迎えて



平成19年7月、「中田かわら版」が創刊され、フロントページに飾ったニュースは「サマーフェスティバル」と「友遊会」を紹介する記事だった。この記事によると、第1回は昭和48年（1973年）8月で、名称も「夏休みさよならキャンプファイヤーのタベ」だった。今年も8月に行われたが、名称も変わって「第41回サマーフェスティバル」に。すると降雨か何かの原因で3回中止になったことが分かる。

このようにニュース、記録は過去のことを今に知らせる貴重な資料となる。「中田かわら版」の10年間は1回の休みもなく続いて、最新号は126回を迎えた。中田の著名人を紹介する「この人に会いたい」も第1回の望月榮氏から数えて39人。来年早々には40人になる。それぞれの団体や地域で活躍、中田の誇る人物は永遠に輝き続けることだろう。すでに鬼籍に入った人も何人かいる。ご冥福とともに、記録に残せて良かったと、率直に思う。中田の歴史を築いた偉大な人たちだからである。なお、「かわら版」が今日まで発行できたのも踊場ケアプラザ（生田純也所長と葛西健一氏）の全面的協力があったからで、心からお礼を申しあげたい。

（宮田貞夫）

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。[www.odoriba-cp.jp](http://www.odoriba-cp.jp)へアクセス！！